



今年の冬（H27年11月～H28年3月までの5か月間）は、上のグラフで見られるように、「暖冬・少雪」であったと言えます。月別にその様子をみてみましょう。

- 11月：上・中旬は穏やかな日が多かったのですが、下旬には冬型の気圧配置や低気圧の影響で荒れ模様になり26日にはこの冬の日降雪量の最大値（26cm）を記録しました。
- 12月：上・下旬には冬型の気圧配置が現れましたが、中旬には記録的な高温となり、日平均気温は平年より4度、日最低気温の平均も平年より4、6度と高くなりました。
- 1月：中旬には一時的に寒くなりましたが、概ね高温で推移しました。
- 2月：中旬から下旬初めにかけて南からの暖かい空気が入り、高温状態が続きました。
- 3月：天気は周期的に変わり、平均気温は高目に経過しました。

この冬の特徴として、次のことが挙げられます。

- 1、シベリア上空を流れる偏西風が北に蛇行したため、日本付近では南西から北東へ進む流れとなり、北海道への寒気の南下は弱く、冬型の気圧配置が強まらなかった。
- 2、1によりひと冬の降雪量の合計は、461cmと平年の80%と少なかった。